

第35回土木学会地震工学研究発表会(2015年)

10月6日(火)

	A会場 (コンベンションホール)	B会場 (AS311・312)	C会場 (AS303・304)	D会場 (AS313・314)
08:30-09:00	受付(コンベンションホール前)			
09:00-10:30	A11 <耐震設計・減衰特性> 北原武嗣(関東学院大学)	B11 <サイト特性> 秦吉弥(大阪大学)	C11 <災害対応1> 沼田宗純(東京大学)	D11 <液状化対策技術> 吉田雅穂 (福井工業高等専門学校)
10:45-12:00	A12 特別セッション <ネパール・ゴルカ地震> 宮島昌克(金沢大学)			
12:00-13:30	ランチタイム			
13:30-15:00	A13 <地震時挙動・耐震性能> 高橋良和(京都大学)	B13 <地下構造と地震動> 野口竜也(鳥取大学)	C13 <災害対応2> 丸山喜久(千葉大学)	D13 <液状化試験> 中澤博志 (防災科学技術研究所)
15:15-16:45 (C会場のみ 15:15-17:00)	A14 <支承・ゴム支承・免震> 庄司学(筑波大学)	B14 <International Session> 小野祐輔(鳥取大学)	C14 <津波災害と津波避難> 原田賢治(静岡大学)	

10月7日(水)

	A会場 (コンベンションホール)	B会場 (AS311・312)	C会場 (AS303・304)	D会場 (AS313・314)
09:00-10:30	A21 <制震・ダンパー> 五十嵐晃(京都大学)	B21 <強震動予測・設計地震動> 野津厚 (港湾空港技術研究所)	C21 <ライフライン> 鈴木崇伸(東洋大学)	D21 <地盤および土構造物の応答解析> 末富岩雄 (エイト日本技術開発)
10:45-12:15	A22 特別セッション <長野県北部地震> 吉見雅行 (産業技術総合研究所)			
12:15-13:30	ランチタイム			
13:30-15:00	A23 <RC構造> 秋山充良(早稲田大学)	B23 <断層変位・地震動に対する地中構造物の耐震性> 飛田哲男(京都大学)	C23 <防災一般> 能島暢呂(岐阜大学)	D23 <液状化と構造物被害> 上田恭平(京都大学)
15:15-16:45	A24 <鋼構造・基礎> 梶田幸秀(九州大学)	B24 <液状化に対する地中構造物の挙動・性能およびダムの耐震性> 坂下克之(大成建設)	C24 <東北地方太平洋沖地震> 橋本隆雄 (千代田コンサルタント)	

(2015年9月24日版)

第35回地震工学研究発表会プログラム

A会場(コンベンションホール)

10月6日(火)

9:00-10:30 A11 <耐震設計・減衰特性>		座長: 北原武嗣(関東学院大学)
講演番号	講演題目	講演者
A11-824	「危機耐性」を考慮した耐震設計体系(1) 試案構築にむけての考察	本田利器(東京大学)
A11-848	「危機耐性」を考慮した耐震設計体系(2) 鉄道・港湾構造物の設計指針と「危機耐性」	野津厚(港湾空港技術研究所)
A11-806	「危機耐性」を考慮した耐震設計体系(3) 道路橋示方書から読み取る「危機耐性」と国内外の動向を踏まえた課題の整理	高橋良和(京都大学)
A11-837	危機耐性を高める自重補償構造の耐震性能と成立性に関する検討	西村隆義(ジェイアール総研エンジニアリング)
A11-764	鉄道車両の走行性に与える構造物の減衰および振動特性の影響	豊岡亮洋(鉄道総合技術研究所)
A11-791	振動計測による鉄道構造物の減衰特性の概略評価	和田一範(鉄道総合技術研究所)

10:45-12:00 A12 特別セッション<ネパール・ゴルカ地震>		座長: 宮島昌克(金沢大学)
講演番号	講演題目	講演者
A12-748	Situation of damage in and around Kathmandu Valley due to the 2015 Gorkha Nepal Earthquake	大角恒雄(防災科学技術研究所)
A12-779	ネパール中部地震における組積造建築物の被害とその対策法	松原仁(琉球大学)
A12-808	2015年ネパール(ゴルカ)地震被害調査報告	田中努(エイト日本技術開発)
A12-855	2015年ネパール・ゴルカ地震による道路における地盤災害調査報告	清田隆(東京大学)

13:30-15:00 A13 <地震時挙動・耐震性能>		座長: 高橋良和(京都大学)
講演番号	講演題目	講演者
A13-801	既設吊橋の大規模地震時挙動に関する解析的研究	松田宏(ドゥーユー大地)
A13-834	簡易モデルによる既設長大吊橋の大規模改修に基づく耐震性評価	西嶋航(熊本大学)
A13-781	ハイリニア型Double Targetモデルを用いた妥当性評価と地震応答評価	徳丸昂(熊本大学)
A13-852	ファイバーモデルを用いた橋りょうにおける本震後の残存耐力に関する検討	本山紘希(鉄道総合技術研究所)
A13-864	RC上部工が損傷した栈橋の余震時耐震性能評価のためのモデル化	大矢陽介(港湾空港技術研究所)
A13-826	支承およびダンパーの損傷跡に基づく気仙大橋の津波による挙動の推定	中尾尚史(土木研究所)

15:15-16:45 A14 <支承・ゴム支承・免震>		座長: 庄司学(筑波大学)
講演番号	講演題目	講演者
A14-814	大地震を経験したゴム支承の残存耐震性評価に関する実験的研究	岩本周哲(九州大学)
A14-820	経年劣化されたゴム支承(リング沓)の終局ひずみの確率分布のベイズ法推定	佐藤拓(竹中工務店)
A14-832	免震橋の2方向耐震性能に関する漸増動的解析	党紀(埼玉大学)
A14-821	地盤と構造物の一体モデルによる免震橋の地震応答特性に関する検討	吉澤努(大日本コンサルタント)
A14-812	反重力すべり支承等の非線形履歴における解析安定性に関する一考察	佐藤知明(JIPテクノサイエンス)
A14-825	既設道路橋に用いられている線支承の耐力特性	森屋圭浩(土木研究所)

10月7日(水)

9:00-10:30 A21 <制震・ダンパー>		座長: 五十嵐晃(京都大学)
講演番号	講演題目	講演者
A21-760	既設高架橋の鋼製橋脚基部に着目した制震・免震デバイスによる地震応答低減に関する研究	伊原茂(首都高速道路)
A21-833	鋼ゲルバー箱桁橋の桁連続化と制震デバイスの適用による耐震性能照査	杉岡弘一(阪神高速道路)
A21-795	摩擦履歴と速度則の履歴特性を有する制震ダンパーの調和入力による応答評価	宇野裕恵(オイレス工業)
A21-859	新幹線高架橋上の電車線柱の連成系地震応答解析およびTMDによる震動制御	水谷司(東京大学)
A21-818	鋼連続橋における落橋防止装置の地震時挙動および地震荷重に関する解析的考察	永原稔之(九州大学)

10:45-12:15 A22 特別セッション<長野県北部地震>		座長: 吉見雅行(産業技術総合研究所)
講演番号	講演題目	講演者
A22-734	経験的サイト増幅・位相特性を考慮した2014年長野県神城断層地震における白馬村神城地区での強震波形の広域評価	秦吉弥(大阪大学)
A22-735	高密度常時微動計測に基づく長野県白馬村神城地区におけるサイト増幅特性の評価	吉川登代子(大阪大学)
A22-736	臨時余震観測および常時微動計測に基づく2014年長野県神城断層地震における白馬村神城地区での強震動の高密度評価	藤本早(大阪大学)
A22-794	2014年長野県北部の地震の被害調査と震源のモデル化	池田隆明(飛鳥建設)
A22-842	長野県神城断層地震の被災地域における常時微動観測を利用した地震動推定	牧加奈子(金沢大学)
A22-861	2014年長野県神城断層地震による宅地被害分析	橋本隆雄(千代田コンサルタント)

13:30-15:00 A23 <RC構造>		座長: 秋山充良(早稲田大学)
講演番号	講演題目	講演者
A23-733	鉄道無筋コンクリート橋脚の地震時被災メカニズム分析と耐震対策に関する検討	古川愛子(京都大学)
A23-769	内巻きスパイラル筋RC柱を有する鉄道高架橋の動的非線形解析による終局耐力の推定	中村渚(東京大学)
A23-831	圧入鋼板巻立てによる曲げ補強工法の開発とその耐震性能に関する実験的検証	梅本洋平(オリエンタル白石)
A23-845	極大地震動に対する免震支承-RC橋脚系の地震時安全性の向上を図るために必要な部材間の耐力格差とRC橋脚の変形性能	小野寺周(東北大学)
A23-869	ウェーブレット変換によるRC橋脚をモデル化した回転自由度系の経年劣化抽出	前川広基(大阪産業大学)
A23-871	中空断面RC橋脚の断面条件が地震時破壊特性と変形能に及ぼす影響の評価	篠原聖二(阪神高速道路株式会社)

15:15-16:45 A24 <鋼構造・基礎>		座長: 梶田幸秀(九州大学)
講演番号	講演題目	講演者
A24-742	繰り返し荷重を受けるT型溶接継手の延性き裂の発生・進展・破断現象の解明に関する実験的研究	加藤友哉(名城大学)
A24-745	芯材に波形鋼板を適用した座屈拘束プレースの履歴曲線の安定化に関する検討	加藤弘務(名城大学)
A24-850	コンクリート巻き立て管の地震時挙動の定量評価について	若竹雅人(NTTアクセスサービスシステム研究所)
A24-771	合成構造フーチングを有するダブルラケット型橋脚基礎の地震応答検証	松崎久倫(首都高速道路)
A24-809	ひずみレベルに応じた杭基礎の逸散減衰の実験的検討	日野篤志(鉄道総合技術研究所)

第35回地震工学研究発表会プログラム

B会場 (AS311・312)

10月6日(火)

9:00-10:30		B11 <サイト特性>	座長: 秦吉弥(大阪大学)
講演番号	講演題目		講演者
B11- 738	鳴瀬川堤防の耐震性評価における想定地震の選定に関する基礎的検討		静間俊郎(篠塚研究所)
B11- 761	関東地方における地震動地域特性のばらつきに関する基礎的検討		栗田哲史(東電設計)
B11- 793	東京湾周辺における周期数秒レベルの長周期地震動特性の評価と地震動算定		久世益充(岐阜大学)
B11- 823	2005年千葉県北西部地震を対象とした強震動予測に基づく表層地盤増幅特性の評価		東野晋也(千葉大学)
B11- 739	経験的サイト増幅・位相特性を考慮した1993年北海道南西沖地震における奥尻島青苗地区での強震動の評価		湊文博(大阪大学)
B11- 740	常時微動計測および臨時地震観測の高密度化に基づく南海トラフ巨大地震における和歌山県広川町津波来襲予想地域での強震動の評価		植田裕也(大阪大学)

13:30-15:00		B13 <地下構造と地震動>	座長: 野口竜也(鳥取大学)
講演番号	講演題目		講演者
B13- 787	1943年鳥取地震の学校被害地点における微動探査を用いた地盤構造推定と地震動評価		吉田昌平(鳥取大学)
B13- 797	鳥取県内の地震観測点における地盤構造の把握とサイト特性の評価		野口竜也(鳥取大学)
B13- 803	薩摩硫黄島における低周波数のピークを有するサイト増幅特性の要因分析		山田雅行(ニュージェック)
B13- 763	深層地盤構造を用いた近畿地方のサイト増幅特性の簡易評価法に関する研究		長尾毅(神戸大学)
B13- 777	有限差分法を用いた京都盆地におけるサイト増幅特性の評価法に関する研究		香川耀平(神戸大学)
B13- 786	高密度強震観測エリアにおけるサイト増幅特性の解析的評価法に関する研究		出口拓磨(神戸大学)

15:15-16:45		B14 <International Session>	座長: 小野祐輔(鳥取大学)
講演番号	講演題目		講演者
B14- 744	Application of Meta-Modeling for Quality Assurance of Automated High Fidelity Bridge Structure Models		J. A. S. C. JAYASINGHE(東京大学)
B14- 746	Undrained Cyclic Behavior of Toyoura Sand Under Irregular and Equivalent Uniform Torsional Shear Stress Loading		Muhammad Umar(東京大学)
B14- 840	緊急輸送道路の災害リスクを考慮した防災拠点間の到達可能性に関する分析		Ahmed WAHID UDDIN(金沢大学)
B14- 849	Synthesis of Near-fault Strong Ground Motion by Using Hybrid Method of Statistical and Theoretical Green's Function		Shuanglan WU(京都大学)
B14- 857	Effect of particle size of backfill on seismic resistance of geo-synthetic-reinforced soil retaining walls		Christian HAUSSNER(東京大学)
B14- 860	Seismic Behavior of Moment Resisting Frame (MRF) Buildings		Shanthanu Rajasekharan(東京大学)

10月7日(水)

9:00-10:30		B21 <強震動予測・設計地震動>	座長: 野津厚(港湾空港技術研究所)
講演番号	講演題目		講演者
B21- 789	確率過程として見た地震動位相の不可解性		佐藤忠信(東南大学)
B21- 854	JS divergenceに基づく地震動波形のクラスタリング手法による観測地震動記録群の分類		宮本崇(山梨大学)
B21- 758	積丹半島沖の地震震源域における断層モデルの検証		齊藤龍(国際航業)
B21- 844	地表断層が不明瞭な地殻内地震の地震動のバラツキに関する一考察		福島康宏(エイト日本技術開発)
B21- 737	道路盛土の耐震性評価における設計水平震度と入力地震動の関係に関する一考察		門田浩一(パンフィックコンサルタンツ)
B21- 805	応答スペクトルを用いた水平2方向入力地震動の設定に関する研究		井上和真(大成建設)

13:30-15:00		B23 <断層変位・地震動に対する地中構造物の耐震性>	座長: 飛田哲男(京都大学)
講演番号	講演題目		講演者
B23- 773	断層横断部の埋設鋼管路の挙動に関する研究		長谷川延広(JFEエンジニアリング)
B23- 802	断層変位を受ける地中構造物の応答に関する基礎的検討		坂下克之(大成建設)
B23- 775	小型模型実験による管路・地盤間に働く摩擦力の速度依存性		平山智章(神戸大学)
B23- 813	水道配水用ポリエチレン管の地震動に対する耐震性評価に関する研究		西川源太郎(セキスイ管材テクニクス)

15:15-16:45		B24 <液状化に対する地中構造物の挙動・性能およびダムの耐震性>	座長: 坂下克之(大成建設)
講演番号	講演題目		講演者
B23- 788	遠心模型実験による液状化地盤中の管路の動的変形挙動		飛田哲男(京都大学)
B24- 783	液状化による地震リスクを考慮した下水道管路施設の長寿命化計画に関する研究		常井友也(兵庫県庁)
B24- 810	マルチプルアーチダムの耐震性能の評価法に関する検討		有賀義明(弘前大学)

第35回地震工学研究発表会プログラム

C会場 (AS303・304)

10月6日(火)

9:00-10:30		C11 <災害対応1>	座長: 沼田宗純(東京大学)
講演番号	講演題目	講演者	
C11- 747	家庭の買い置き品の災害時活用に関する分析—金沢市を対象として—	吉田裕実子(金沢大学)	
C21- 798	東日本大震災報告書の用語検索によるライフライン相互連関分析	鎌田泰子(神戸大学)	
C11- 816	金沢市民の非常用備蓄と防災意識に関する調査と行政の備蓄費用への費用負担モデルの推定	大澤脩司(金沢大学)	
C11- 817	地震リスクを考慮した補修優先度決定法の提案	南貴大(金沢大学)	
C11- 872	効率的な避難所運営を実現するためのIT避難所運営支援システム“COCOA”の開発	高津諭(東京大学)	

13:30-15:00		C13 <災害対応2>	座長: 丸山喜久(千葉大学)
講演番号	講演題目	講演者	
C13- 759	高速道路の復旧予測に向けた既往地震データに基づく基礎的検討	上原康平(千葉大学)	
C13- 819	国保データベースを用いた災害時要援護者の実態把握	玉森祐矢(金沢大学)	
C13- 846	被害程度に応じた災害対応業務量および対応期間の評価モデルの構築	沼田宗純(東京大学)	
C13- 873	液状化による道路沈下量とPL値の関係に基づく新たなハザードマップの構築	梶原和博(横浜国立大学)	
C13- 874	震後対応における意思決定を支援する即時震害推測システムの開発	長屋和宏(国土技術政策総合研究所)	

15:15-17:00		C14 <津波災害と津波避難>	座長: 原田賢治(静岡大学)
講演番号	講演題目	講演者	
C14- 767	東北地方太平洋沖地震の際の津波による平面道路の被害分析	板垣治(千葉大学)	
C14- 858	3次元混相流解析による一部径間が流出した道路橋の津波被害再現解析	片岡正次郎(国土技術政策総合研究所)	
C14- 878	氷板漂流物を伴う河川遡上津波の波力評価に関する検討	阿部孝章(寒地土木研究所)	
C14- 847	建物群を含む地表面詳細モデルを用いた粒子法による三次元津波遡上解析	江口史門(九州大学)	
C14- 853	仮想造波板による平面2次元解析と3次元粒子法の連成型津波遡上解析	宮川欣也(九州大学)	
C14- 835	釧路市低平地における避難条件の変化が津波避難可能範囲に及ぼす影響の検討	齊藤剛彦(北見工業大学)	
C14- 867	津波避難評価指標の提案と検証	後藤洋三(東京大学)	

10月7日(水)

9:00-10:30		C21 <ライフライン>	座長: 鈴木崇伸(東洋大学)
講演番号	講演題目	講演者	
C21- 750	東北地方太平洋沖地震における首都圏のガス導管被害分析	向後陽平(千葉大学)	
C21- 766	葛西給水所耐震補強工事の実施設計における水道施設耐震工法指針への適用について	五十嵐徹(ニュージエック)	
C21- 822	空気弁の地震被害要因に関する振動実験	石田明久(金沢大学)	
C21- 880	通信埋設管路の地震対策に活用するスクリーニング手法の提案及び地震被害関数の構築	宮崎史倫(筑波大学)	

13:30-15:00		C23 <防災一般>	座長: 能島暢呂(岐阜大学)
講演番号	講演題目	講演者	
C23- 774	神戸市における海岸保全施設の南海トラフ地震に対する対策検討	山本龍(ニュージエック)	
C23- 780	震度継続時間予測モデルの実地震に対する適用と検証	能島暢呂(岐阜大学)	
C23- 792	Material Point Methodのエネルギー振動問題に対する抑制手法の提案とその検証	江戸孝昭(琉球大学)	
C23- 839	鉛直地震動が地震時斜面の永久変位に及ぼす影響について	蔣景彩(徳島大学)	
C23- 865	SPH法による石積擁壁の模型振動実験の再現解析	小野祐輔(鳥取大学)	

15:15-16:45		C24 <東北地方太平洋沖地震>	座長: 橋本隆雄(千代田コンサルタント)
講演番号	講演題目	講演者	
C24- 856	東北地方太平洋沖地震による地殻変動からの回復過程の考察	三神厚(徳島大学)	
C24- 800	2011年東北地方太平洋沖地震における相馬港鋼矢板岸壁の被災要因に関する数値計算	中垣規子(ニュージエック)	
C24- 830	2011年東北地方太平洋沖地震による橋梁被害のマクロ分析	畑明仁(大成建設)	
C24- 815	東北地方太平洋沖地震により損傷した鉄道RCラーメン高架橋に関する被害分析	宇野州彦(五洋建設)	
C24- 877	東北地方太平洋沖地震を受けた構造形式が異なるRCラーメン高架橋の被害分析	醍醐宏治(東日本旅客鉄道)	
C24- 843	2011年東北地方太平洋沖地震により被災した既設免震橋の損傷要因分析	藤田亮一(エイト日本技術開発)	

第35回地震工学研究発表会プログラム

D会場 (AS313・314)

10月6日(火)

9:00-10:30		D11 <液状化対策技術>	座長: 吉田雅穂(福井工業高等専門学校)
講演番号	講演題目		講演者
D11- 751	マンホール周辺液状化対策としてのドレーン工法の適用性		嶋田慎司(東京都庁(元芝浦工業大学院生))
D11- 753	マンホールの液状化時安定性向上を目指した均等型重量化工法の適用性		岡本敏郎(芝浦工業大学)
D11- 776	木造建築物の解体角材を利用した液状化対策技術に関する模型振動実験		吉田雅穂(福井工業高等専門学校)
D11- 828	既設戸建住宅を対象とした丸太を用いた液状化対策工法に関する実験的研究		芹川由布子(金沢大学)
D11- 838	丸太打設による既設戸建て住宅の液状化対策の小型振動実験および数値解析による検討		三輪滋(飛鳥建設)
D11- 863	推進工法による液状化対策地下水位低下工法の実験検証		清水敏孝(ガイアモール工法協会)

13:30-15:00		D13 <液状化試験>	座長: 中澤博志(防災科学技術研究所)
講演番号	講演題目		講演者
D13- 752	堆積年代の古いシルト質砂とその再構成試料の繰返しせん断特性		谷本俊輔(土木研究所)
D13- 757	大小様々な液状化履歴を与えた複数回液状化試験と消散エネルギーを用いた分析		青柳悠大(東京大学)
D13- 778	不飽和化地盤におけるコーン試験時に生じる間隙水圧挙動挙動に関する簡易模型実験		中澤博志(防災科学技術研究所)
D13- 862	排水・非排水繰返し載荷履歴が豊浦砂のせん断剛性率と液状化強度に及ぼす影響		呉杰祐(東京大学)
D13- 772	地震動により流動状態となった土砂の地盤特性評価		森田年一(群馬工業高等専門学校)

10月7日(水)

9:00-10:30		D21 <地盤および土構造物の応答解析>	座長: 末富岩雄(エイト日本技術開発)
講演番号	講演題目		講演者
D21- 770	観測記録から地盤全体系の非線形特性を同定する手法の提案		坂井公俊(鉄道総合技術研究所)
D21- 782	地表面地震動評価のための動的変形特性試験を実施する土層の定量的評価法		石川太郎(鉄道総合技術研究所)
D21- 799	3次元非線形地盤震動解析を用いた堆積層における地盤ひずみの集中効果の検証		入原渉(山梨大学)
D21- 827	周波数依存型地盤応答解析におけるパラメータの最適化のための一検討		末富岩雄(エイト日本技術開発)
D21- 841	盛土の耐震性評価における地震動の影響と残留変位量の簡易推定法について		三好忠和(西日本高速道路エンジニアリング関西)
D21- 811	1G場での振動実験による斜面模型の崩壊挙動の分析		中村晋(日本大学)

13:30-15:00		D23 <液状化と構造物被害>	座長: 上田恭平(京都大学)
講演番号	講演題目		講演者
D23- 756	鉄道沿線における液状化の発生と構造物被害に関する考察		川中島寛幸(東日本旅客鉄道)
D23- 804	橋桁の影響を考慮した液状化地盤上にある橋台の地震時応答に関する基礎的研究		柿永恭佑(九州大学)
D23- 868	地盤物性のばらつきを考慮したケーソン式岸壁の耐震性能に関する確率論的評価		上田恭平(京都大学)
D22- 870	動的遠心模型実験による河川特殊堤の耐震対策工の作用力モデルに関する考察		梶尾辰史(国土技術政策総合研究所)